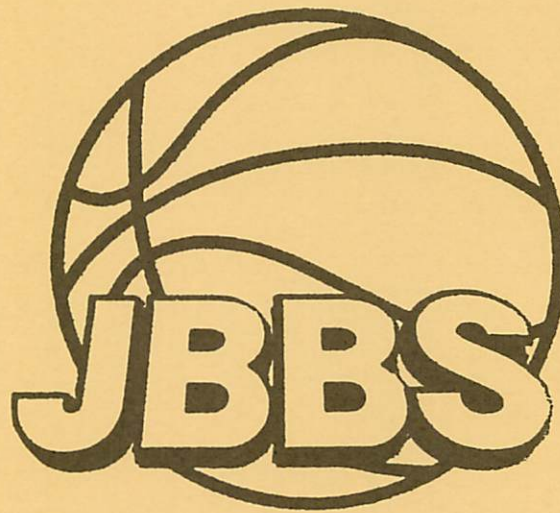


バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:51



2011年8月

NPO法人 日本バスケットボール振興会

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

本大会唯一の公式試合球

BGL7
GL7 国際公認球 検定球
貼り・天然皮革、7号球



www.molten.co.jp

株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7

目 次

○ 男子日本代表東アジア選手権準優勝	3
○ 女子日本代表ロンドンオリンピック出場なるか!	6
女子アジア選手権兼ロンドン五輪アジア予選近づく	
○ 男女日本代表チームニックネーム決定	9
○ U-19 女子日本代表世界選手権でベスト8進出	10
○ 全国シニア交歓大会 IN 代々木	12
参加10チームで第4回目を開催	
○ メルボルン・オリンピック(1956)参加までの道程 歴史部	27
○ JAL RABBITS 30年間の歩み 中瀬達雄	32
上がって下がって、また上がった11年間	
○ 各トップリーグ今シーズン開催概要	35
○ 第64回インターハイ組合せ	38
○ 事務局だより	40

男子日本代表東アジア選手権準優勝

[編集部]

去る6月10日から中国南京市で開催された第2回東アジア選手権大会兼FIBA ASIA男子バスケットボール選手権大会東アジア地区予選において、男子日本代表は前回大会に引き続いて準優勝となった。

ロンドンオリンピックのアジア予選となる男子アジア選手権大会は、9月に中国武漢市にて開催される予定で、この大会で優勝すればロンドンオリンピックへの出場権が得られる。

今回の東アジア選手権大会には、中国、韓国、ホンコン・チャイナ、モンゴル、チャイニーズ・タイペイ、日本の6カ国が出場し、上位4チームがアジア選手権大会へ出場できる。

大会は6カ国がA、B二つのグループに分かれて総当たりの予選ラウンドを戦い、各グループ上位2チームずつによる決勝トーナメントで順位を決定する方式で行われた。

男子日本代表は予選ラウンド1回戦でチャイニーズ・タイペイに1点差で敗れたが、続くモンゴル戦では快勝し、準決勝で対戦した中国を10点差で破って決勝へ進んだ。

決勝戦はグループA第2位の韓国と対戦したが、73対89と大差で敗退し優勝はならなかった。

男子日本代表チーム

主なスタッフ

役 職	氏 名	所 属
チームリーダー	萩原 伸浩	日本協会
ヘッドコーチ	トーマス・ウィスマン	日本協会
アシスタントコーチ	東野 智弥	日本協会
アシスタントコーチ／通訳	東頭 俊典	日本協会
アシスタントコーチ／通訳	水野 宏太	リンク栃木ブレックス
マネージャー	乙守 亜紀	日本協会

選 手

No.	選手名	P	身長 c m	体重 kg	年齢 歳	所 属
4	木下 博之	P G	178	70	31	パナソニックトライアンズ
5	金丸 晃輔	S F	193	78	22	パナソニックトライアンズ
6	桜井 良太	P G	194	75	28	北海道バスケットボールクラブ
7	石崎 巧	P G	188	85	26	島根スサノオマジック
8	柏木 真介	P G	183	80	29	アイシンシーホース
9	川村 卓也	S G	193	80	25	リンク栃木ブレックス

10	竹内 公輔	P F	206	98	26	アイシンシーホース
11	網野 友雄	S F	196	87	30	アイシンシーホース
12	広瀬 健太	S F	193	90	25	パナソニックトライアンズ
13	古川 孝敏	S G	190	90	23	アイシンシーホース
14	伊藤 俊亮	C	204	110	31	リンク栃木ブレックス
15	竹内 譲次	P F	206	98	26	日立サンロッカーズ

日本代表試合結果

[予選ラウンド Bブロック]

順位	チーム	日 本	チャイニーズ・タイペイ	モンゴル	勝点
2	J P N		● 7 4	○ 9 4	3
1	T P E	○ 7 5		○ 8 5	4
3	M N G	● 7 3	● 7 1		2

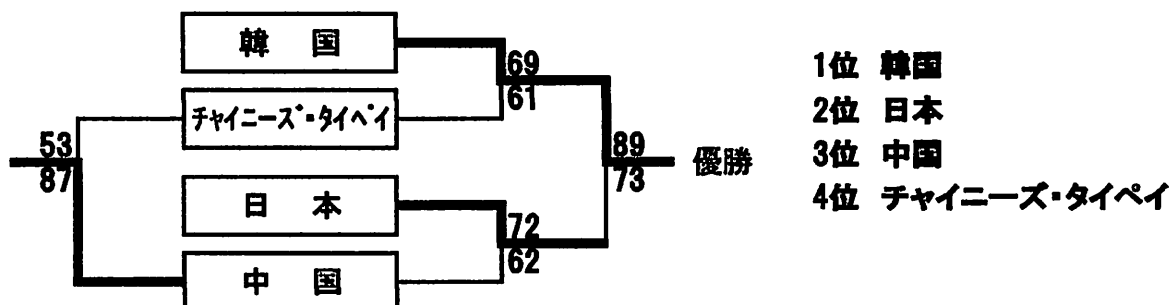
チャイニーズ・タイペイ戦

日本は前半を32対27の5点リードで終えたが、第3ピリオド終了間際に相手の超ロングシュートが決まって逆転を許した。第4ピリオドお互いに一進一退の攻防となり、終了間際残り時間3.6秒で#9 川村が逆転のシュートを成功させ1点リードしたが、その直後相手#11のドライブインを守り切れずにファウルを犯し、フリースローを2本決められてタイムアップとなり1点差で敗れた。

モンゴル戦

日本は立ち上がりこそ12対17と相手にリードされたが、その後プレスディフェンスからリズムを掴み47対33の14点リードで前半を終える。後半日本は3Pシュートなどで点差を離すが相手に粘られてセーフティリードを保てない。第4ピリオド日本の選手が審判に抗議して続けざまにテクニカルファウルをとられる。荒れた展開になりそうなところを#9 川村、#8 柏木の3Pシュートで抜け出し、全員出場の94対73で初勝利を飾った。

[決勝トーナメント]



[準決勝 中国戦]

日本は予選グループ A 第 1 位の中国と対戦、第 1 ピリオドから激しいディフェンスで相手のミスを誘うも得点が伸びず 12 対 15 で中国リード。第 2 ピリオドに入ると中国が連続 3 P など得点を伸ばす一方で、日本はディフェンスリバウンドなどもうまくいかずファウルからの相手フリースローで失点し、前半を終わって 24 対 38 と 14 点のビハインドとなる。

第 3 ピリオド、高い位置からのプレッシャーディフェンスによって中国の攻撃を抑え、更に #9 川村や #12 広瀬の 3 P シュートで 6 点差に迫る。その後 #10 竹内らのインサイド攻撃も効を奏し、第 3 ピリオド終了寸前 #7 石崎のシュートによって 50 対 48 と逆転に成功する。

第 4 ピリオドに入っても厳しいディフェンスを続ける日本は、6 連続得点で残り 5 分に 64 対 48 と 16 点差をつける。しかし中国も 3 P シュートなどで反撃し、残り 2 分を切ったところで 68 対 60 の 8 点差に迫る。日本はタイムアウトの後、体制を立て直して時間を使い結局 72 対 62 で逃げ切りに成功し決勝進出を決定。

[決勝 韓国戦]

前回大会優勝の韓国に対して日本は、第 1 ピリオド開始早々から相手に連続得点され、0 対 8 となる。韓国は要所で 3 P シュートなどを決めて第 1 ピリオドで日本は 13 対 25 と大きくリードされる。第 2 ピリオドに入ると日本は #15 竹内のシュートや #4 木下、#12 広瀬の 3 P シュートで追いつけるが、韓国も確実にシュートを決めて得点差は詰まらない。残り 5 分を切ってから日本は #10 竹内のシュートを皮切りに #6 桜井のドライブイン、#9 川村の 3 P シュートで更に追いつけ、37 対 40 の 3 点差で前半を終わる。

第 3 ピリオド、日本は必死に追いつけを図るが 3 点差に迫るのがやっと、逆に終了間際相手に 3 P を 2 本決められて、54 対 63 とまたしても得点差が開く。

日本は第 4 ピリオド、#5 金丸、#9 網野、#4 木下らの 3 P を含むシュートで 62 対 67 の 5 点差まで詰め寄ったが、韓国も連続 3 P シュートやバスケットカウントからのフリースローで一挙に 13 点加点し、62 対 80 と引き離される。終盤日本は #15 古川の 3 P シュートで粘るが追いつけには至らず、結局 73 対 89 の大差で敗れ準優勝となった。この試合では 3 P を含むシュート力で韓国が日本を上回っており、韓国の正確なシュート力は顕在であった。



女子日本代表ロンドンオリンピック出場成るか！

女子アジア選手権兼ロンドン五輪アジア予選近づく

[編集部]

第24回FIBAアジア女子選手権大会兼ロンドンオリンピックアジア予選は、既報のとおり8月21日から長崎県大村市「シーハットおおむら」において開催されるが、このほど詳細な日程と組合せが決定した。

中川ヘッドコーチ率いる女子日本代表は、5月連休明けから再び強化合宿に入りヨーロッパ遠征、オーストラリア遠征などを経て現在は国内で強化に励んでいる。

このアジア選手権大会で優勝すれば来年開催されるロンドンオリンピックの出場権が与えられるが、アジアの頂点に立つには宿敵韓国や強豪の中国を破らなければならず、決して平たんな道のりではない。しかし一方では開催国という有利な面もあり、日本全体の盛り上がりと応援次第では優勝することも夢ではない。

日本においてバスケットボールがややマイナー化する中、何が何でもアジアの頂点に立ってロンドン行きの切符を手にして欲しいものである。



第24回FIBAアジア女子選手権大会組合せと日程

レベルI グループ (6チーム)

中国、韓国、日本、チャイニーズ・タイペイ、インド、レバノン

予選ラウンド日程 (レベルI)

6チーム総当たりリーグ戦で上位4チームが決勝トーナメントへ進む

8月21日 (日)

時 刻	ホームチーム		アウェイチーム
15:00	チャイニーズ・タイペイ	V S	インド
17:00	韓 国	V S	中 国
19:00	レバノン	V S	日 本

8月22日 (月)

時 刻	ホームチーム		アウェイチーム
15:00	インド	V S	韓 国
17:00	レバノン	V S	中 国
19:00	日 本	V S	チャイニーズ・タイペイ

8月23日（火）

時 刻	ホームチーム		アウェイチーム
15:00	中 国	V S	インド
17:00	チャイニーズ・タイペイ	V S	レバノン
19:00	韓 国	V S	日 本

8月24日（水）

時 刻	ホームチーム		アウェイチーム
15:00	レバノン	V S	韓 国
17:00	チャイニーズ・タイペイ	V S	中 国
19:00	日 本	V S	インド

8月25日（木）

時 刻	ホームチーム		アウェイチーム
15:00	インド	V S	レバノン
17:00	韓 国	V S	チャイニーズ・タイペイ
19:00	中 国	V S	日 本

決勝トーナメント日程

8月27日（土）

時 刻	試合種別	ホームチーム		アウェイチーム
17:30	準決勝	レベル I 第2位	V S	レベル I 第3位
19:30	準決勝	レベル I 第1位	V S	レベル I 第4位

8月28日（日）

時 刻	試合種別	ホームチーム		アウェイチーム
14:00	順位戦	準決勝敗者	V S	準決勝敗者
16:00	決 勝	準決勝勝者	V S	準決勝勝者

既報のとおり、この大会の優勝チームには2012ロンドンオリンピックへの出場権が与えられ、2位3位チームにはFIBAオリンピック世界最終予選への出場権が与えられる。

チームスタッフ

役 職	氏 名	所 属
チームリーダー	荒 順一	日本協会
ヘッドコーチ	中川 文一	日本協会
アシスタントコーチ	梅寄 英毅	山梨学院大学
アシスタントコーチ	トム・ホーバス	J Xサンフラワーズ
総 括	安達 宜郎	W J B L
ドクター	三木 英之	平塚共済病院

トレーナー	清水 結	日本協会
トレーナー	中川 菜保	ライラック治療院
マネージャー	成井 千夏	J Xサンフラワーズ
マネージャー	河上 直子	プロショップ トリプルダブル
技術スタッフ	恩塚 亮	日本協会

女子日本代表選手

選手名	P	身長 c m	体重 kg	年齢 歳	所 属
石川 幸子	S F	178	68	32	日本協会
三谷 藍	P F	182	68	32	富士通レッドウェーブ
名木 洋子	S F	175	67	29	富士通レッドウェーブ
大神 雄子	S G	170	63	28	J Xサンフラワーズ
木村 恵理子	P F	181	75	28	富士通レッドウェーブ
久手堅 笑美	P G	165	63	26	トヨタ自動車アンテロープス
吉田 亜沙美	P G	165	64	23	J Xサンフラワーズ
大庭 久美子	S G	169	59	23	デンソーアイリス
高田 真希	C	183	74	21	デンソーアイリス
間宮 佑圭	P F	183	72	21	J Xサンフラワーズ
渡嘉敷 来夢	C	191	78	20	J Xサンフラワーズ
長岡 萌映子	P F	180	69	17	札幌山の手高校3年
平 均		177	68	25	

(木村恵理子選手は旧姓 畑)

強化合宿当初18名だった候補選手は、ヨーロッパ・オーストラリア遠征前に15名に絞られ、今回帰国後最終的に上記の12名が代表選手として決定された。今後、怪我などの突発事故がない限りこのメンバーでアジア選手権大会を戦うことになる。

中でも注目されるのは、身長191cmのセンター渡嘉敷選手のインサイド、アウトサイドのオフェンスと、最年少の高校生、身長180cmの長岡選手で、そのリバウンド力には定評があり活躍を期待したい。

この後日本代表は、8月4日から7日までカナダ代表チームを迎えて国際親善ゲームに臨み、最終調整を行ってアジア選手権大会に焦点を当てる。

カナダ代表との国際親善ゲームの日程は以下のとおり。

- 8月4日(木) 19時～ 長崎県立総合体育館
- 8月6日(土) 14時～ シーハット大村
- 8月7日(日) 15時～ 福岡市民体育館

男女日本代表チームニックネーム決定

[編集部]

日本協会では、男女日本代表がより多くの方々に愛され、応援していただけるようにと日本代表のニックネームを公募するキャンペーンを実施していたが、このほど多くの応募の中から「隼（ハヤブサ） ジャパン」が選ばれた。

4月から開始された公募には341通に上る応募が寄せられ、男女それぞれの選考委員会で審議の結果、このニックネームが男女共通のニックネームとして決定されたもの。

8月21日から女子日本代表が長崎県で、9月15日からは男子日本代表が中国・武漢において開催されるアジア選手権大会に出場し、2012年開催のロンドンオリンピック出場権をかけて戦う。

男女日本代表チームが、隼のようなスピードをもってアジアの頂点に立ち、是非ともオリンピック出場の夢をかなえて欲しいものである。

○ 隼（ハヤブサ） ジャパン

○ ニックネームの由来

「早い翼」を名前の由来とし、「世界最速」と言われるスピードと俊敏性をもつハヤブサが、世界と戦う日本バスケットボールのプレイスタイルのスピードやクイックネスを表現している。

大空を切り裂くハヤブサのように、コートを縦横無尽に切り裂くように駆け回り、日本を勝利に導いて欲しいという願いが込められている。

また、奇跡の生還と言われた小惑星探査機「はやぶさ」のように、どんな困難に遭遇しても決して諦めない強い気持ちと、感動を与える日本代表であることを願っている。

<デザインコンセプト>

獲物を狙う「ハヤブサ」と漢字の隼を組み合わせたデザイン。スピード感を表現している。



U-19 女子日本代表世界選手権でベスト8進出

[編集部]

U-19 日本代表チームは、7月15日からチリ・プエルトモンで開催されている第19回 FIBA U-19 女子世界選手権大会へアジア予選を第2位の成績で勝ち抜いて出場、予選ラウンドグループBで勝ち残りベスト8決定戦へ進出した。

予選ラウンドは出場全16チームを4チームずつ4つのグループに分けて総当たりリーグ戦を行い、各グループの上位3チームがベスト8決定リーグに進む方式。

ベスト8決定リーグは6チームずつ2つのグループでそれぞれ総当たりリーグ戦を行って順位を決定し、上位4チームずつ合計8チームが決勝トーナメントに進む。

U-19 女子日本代表は、予選ラウンドでアルゼンチンとロシアに快勝しベスト8決定戦へ進んでいる。このベスト8決定戦では予選ラウンドで対戦したチーム同士は戦わず、予選ラウンドの成績がそのまま適用される仕組み。

U-19 日本代表

主なスタッフ

役 職	氏 名	所 属
チームリーダー	茂木 卓矢	山形県立山形中央高校
ヘッドコーチ	梅寄 英毅	山梨学院大学
アシスタントコーチ	萩原 美樹子	J Xホールディングス㈱
マネージャー	田邊 広子	日本協会

女子日本代表選手

選手名	P	身長 c m	体重 kg	年齢 歳	所 属
瀬崎 理奈	P G	162	53	19	拓殖大学2年
薬師寺 伶	C F	175	68	19	環太平洋大学2年
本川 紗奈生	S F	175	66	19	シャンソン化粧品 シャンソンVマジック
木工 理恵	S G	169	58	19	山梨学院大学1年
野添 美香	S F	179	64	19	拓殖大学1年
打越 裕梨	P F	176	66	19	拓殖大学1年
渡邊 亜弥	S G	170	55	18	三菱電機コアラーズ
大濱 杏華	P F	175	66	18	大阪人間科学大学1年
桂 葵	S F	180	69	18	早稲田大学1年
高田 汐織	F	170	61	18	デンソーアイリス
内野 智香英	F	176	57	18	松蔭大学1年
町田 瑠唯	P G	160	48	18	富士通レッドウェーブ

U-19 日本代表はズバ抜けて身長の高い選手はいないが、持ち前のスピードで相手を翻弄して予選ラウンドグループBで強豪を倒して快進撃を見せ、次のベスト8決定ラウンドに進出した。

出場国 各地区から下記の16チーム

チリ（開催地）

エジプト（アフリカ大陸1位）、ナイジェリア（アフリカ大陸2位）

アメリカ（アメリカ大陸1位）、ブラジル（アメリカ大陸2位）、カナダ（アメリカ大陸3位）

アルゼンチン（アメリカ大陸5位）

中国（アジア大陸1位）、日本（アジア大陸2位）、チャイニーズ・タイペイ（アジア大陸3位）

イタリア（ヨーロッパ大陸1位）、スペイン（ヨーロッパ大陸2位）、フランス（ヨーロッパ大陸3位）、スロベニア（ヨーロッパ大陸4位）、ロシア（ヨーロッパ大陸5位）

オーストラリア（オセアニア1位）

予選ラウンドグループBの成績

チーム	アメリカ	日 本	ロシア	アルゼンチン	順位
USA		○85	○76	○83	1
JPN	●63		○90	○90	2
RUS	●53	●64		○70	3
ARG	●49	●71	●51		4

日本は予選ラウンドで第2位

ベスト8決定ラウンドグループEの成績

チーム	アメリカ	カナダ	日 本	イタリア	中 国	ロシア	順位
USA		●52	○85	○94	○80	○76	2
CAN	○64		○68	○75	○76	○66	1
JPN	●63	●60		○97	●59	○90	3
ITA	●60	●51	●69		○70	●55	5
CHN	●77	●49	○87	●64		●53	6
RUS	●53	●50	●64	○62	○65		4

ベスト8決定ラウンドでは予選ラウンドで対戦したチーム同士は対戦せず、予選ラウンドの結果が適用される。

以上の結果、日本代表はベスト8の枠に入り、決勝トーナメント進出が決まったが女子バスケットボール界において久々の快挙に拍手を送りたい。

決勝トーナメントの準々決勝は、現地時間7月29日にオーストラリアと対戦するが、今の勢いで突破すればベスト4というこれまでにない記録が生まれる。

本誌がお手元に届くころには最終結果が出ていると思われるが、原稿締め切りの関係でこの結果は次号にてお知らせいたします。

メルボルン・オリンピック(1956)

参加までの道程

[歴史部]

日本男子バスケットボールにおけるオリンピック参加の歴史は、昭和11年(1936)のベルリン・オリンピック(ドイツ)に初めて参加した後、昭和31年(1956)に開催されたメルボルン・オリンピック(オーストラリア)に参加するまで20年の空白があった。

昭和15年(1940)にアジアで初めて開催される予定であった東京・オリンピックに続いて昭和19年(1944)に予定されていたロンドン・オリンピック(イギリス)も、第2次世界大戦の影響でその開催が中止された。日本では、戦争でこの間のスポーツ活動が中止され、昭和20年(1945)の終戦とともにスポーツ活動を再開したが、戦後昭和23年(1948)に開催されたロンドン・オリンピックには、戦争の責任を問われドイツとともに日本は国際オリンピック委員会(IOC)から参加を許可されなかった。

国内では、全日本選手権大会の再開など徐々にバスケットボールの活動が活発になり、昭和24年(1949)12月にGHQオールスター軍との試合を許可され、翌昭和25年(1950)3月にAJA軍(ハワイオールスターチーム)と全日本軍との試合が各地で8試合行われたが、この試合は「戦後初めての国際試合」になった。続いて同年にFIBAへの加盟が実現、昭和26年(1951)5月に開催された国際オリンピック委員会のウイーン総会の決定によって、きたるべきヘルシンキ・オリンピック(1952 フィンランド)へ日本の正式参加が認められた。これにより日本は、スポーツの世界でも戦後初めて国際舞台に復帰することができた。

昭和26年(1951)ニューデリー(インド)で開催の第1回アジア競技大会に日本選手団の参加が正式に決定されるや、日本体育協会では直ちにアジア競技大会実行委員会を設立し同委員会に於いて審議の結果バスケットボール・チームの派遣が承認された。

日本バスケットボール協会では直ちに理事会を開催してその準備に着手し、選手選考の方針を次の通り決定した。

- 一、 選衡委員会を設けること。
- 一、 1952年ヘルシンキで開催されるオリンピック大会をも併せ考慮して選衡すること。
- 一、 参加人員は、監督一、マネージャー一、選手十一、計十三名にすること。
- 一、 選手の最終決定は現在シーズン中につき一月末の全日本総合選手権大会終了後にすること。
- 一、 選衡委員は責任を以って今後行われる全日本学生選手権及び全日本総合選手権大会を見て慎重に資料を集めること。

「バスケットボールNo. 10」(昭和26年6月20日)より

第1回アジア競技大会に向けて日本協会は前記の方針で選手を選考して大会に参加、男子日本代表は優勝を目指したが、決勝戦でフィリピンに33対57で破れ第2位の結果であった。

ヘルシンキ・オリンピック参加についての三条件

日本体育協会は、国際スポーツ委員会が中心となって以下のような参加3条件を決めており、各協会はこれを基準とし、選手の派遣計画を練っている。

- (1) 派遣さるべき選手はそのもつ技術が国際水準に達した者

(2) 人格、行動が国際代表選手としてはずかしくない者

(3) (1)(2)の適格者であり、しかも派遣されるべき時期の社会的事情ならびに経済事情を考慮する

これに対して日本協会は下記のような項目の「趣意書」を日本体育協会に提出した。

一、派遣計画

人員 選手十二名 役員(コーチ及マネージャー)二名 計十四名

編成 協会にコーチングスタッフ及アシスタントコーチを置き選手の強化に努める。派遣チームは全日本選抜チームとする(理事会決定)第一次候補選手はすでに第二次合宿まで行った。

二、派遣の基礎

一、ベルリン大会三回戦でメキシコに敗退

二、ロンドン・オリンピック大会成績(日本不参加)(十二カ国参加)

一位アメリカで、以下八位 朝鮮、十二位 フィリッピン

註、朝鮮は籤運良く八位。フィリッピンは強いグループに入った為十二位となる

三、一九五一年度欧州選手権大会成績(五カ国参加)

1位ソビエトロシア、2位チェコスロバキアなど

四、戦後の国際試合の資料

一九五〇年に来朝のハワイA J Aチーム(ハワイ二世)に五戦五敗

一九五一年、アジア大会の決勝でフィリッピンに敗れる

フィリッピン 57-33 日本

註、この試合は身長差の著しいことと酷暑の為(戸外コート)非常に苦戦に陥った、この苦い経験を生かして日本協会は国際試合に対しては極力身長の秀れた者を採用する方針とする

五、将来予想される国際試合

本年度マニラ実業団優勝チームたるフィリッピン航空会社(PAL)チームが二月始めから来朝、東京、名古屋、大阪で七試合を行う予定。同チームは本年十一月マニラに遠征した昨年度米国 AAU 選手権保持チーム「スチュワート・シボレー」と対戦59-55の接戦を演じ惜敗している。なおシボレーチームは五戦五勝の記録を残している

米国の最強チームと接戦をした PAL チームに対し、来年二月日本がこれと互角の試合ができれば日本も当然米国のレベルに互し得ると考えることも可能となる。

六、米国インディアナ大学コーチによる特別講習会を数次にわたり実施、東京の大学(慶応、立教、早稲田)のチームは著しく実力の進歩の跡がうかがわれる

日本体育協会は昭和27年(1952)2月、当時の会長“東龍太郎”名で「お願いとご挨拶」と称して、次のような説明文書を各競技団体に送っている。

日本体育協会の結論

三条件に基いて本年(1951)4月第1次の派遣計画をたて、各競技団体に希望人員(バスケットボール協会は、役員3名、選手12名計15名)の提出を求めたところ、ヘルシンキ大会に347名、オスロの冬期大会に50名という膨大な数字になった。ここで削減策として国際委員会の決定にしたがって第二次計画として夏冬両大会を通じ118名という数字が出来上がった。この結果残念ながら10種目は役員だけ1名ずつ派遣される結果となった。

選手を決定する要素としては三条件があげられたが、陸上、水泳のように記録が時計による

ものは国際水準に達していることが容易にわかるが、ボール競技のバスケット、蹴球など時計や物差で計ることができない競技は簡単にその力量を検討することが困難であるとの結論だった。

結局、陸上、水泳を除いた対人競技種目においては、この両3年間に外国選手と試合をした実績如何によりその是非を決めるが、政府の補助金の関係で全体の派遣人数が決定されたものである。

日本バスケットボール協会の考え方

当時の日本協会選出の“土肥冬男”体協理事は次のように語っている。

「体協でつくった第二次計画案でバスケットボールが国際水準以上にあることを認められなかった主な原因は、ニューデリーのアジア大会においてフィリッピンに敗北を喫した一戦のようであるが、あの炎天下、アウト・ドアーというフィリッピンに比較したら問題にならない悪条件の下でやられた試合のみをデータとされたのではたまらない。この点について体協側に良く説明するとともに今後実力の向上にあらゆる努力を続けたい」。

結果的に、陸上、水泳、体操、レスリング、自転車などの競技がヘルシンキ大会に参加できたが、バスケットが参加できなかったのは各団体が派遣申請した選手数が膨大であったことや、経費の点で削減されたことが大きな原因であろうと考えられる。

当時の日本協会は、ヘルシンキ大会参加の既定方針に邁進し外来チームの招聘計画を立て、異なった型のチームとの交流によって国際的な実力を養う一方、国内に於ける実力強化に専心すべく、選抜選手の数次に渡る合同合宿練習を計画し万事に遺漏なきを期している。

バスケットボール競技はヘルシンキ大会に参加できなかったが、“土肥冬男”理事は、総務並びにバスケットボール視察員として第15回ヘルシンキ・オリンピック大会に参加している。

当時のオリンピック候補選手とスタッフ

バスケットボール協会では、明年オリンピックに備えて派遣第1次候補選手とコーチングスタッフをつぎの通り発表した。

コーチ

田中秀次郎、畑龍雄、前田昌保、森沢誠一、田中義利、浜谷次、松井聡

アシスタント・コーチ

谷芳郎、井上一男、吉井四郎、大野隆正、武富那中、小森正巳、岩尾純一

選手 [関東]

池田、高橋、佐藤（以上日鋼）松岡、小川（以上日鉱）田中（東京海上）八谷（東洋高圧）片山、小倉、辻光、長島、坪井、浜中（以上慶大）荒井（洵）田中、斉藤、加瀬、友池、荒井（康）（以上立大）木下、福森、佐々木、工藤（以上早大）糸山、檜原（以上教大）岡田（明大）大黒（北大）山本（名古屋工大）今泉（北越高）金沢（宇都宮高）紺野（墨田工）遠藤（安房高）

選手 [関西]

松村（京大OB）大久保（関学OB）新井（関大OB）日笠（武陽ク・東北大OB）有吉（日本ゴム）筑紫（同大OB）山村（京都ク）本田（福岡ク・青南OB）江口（東洋レーヨン・松山農OB）赤嶺（福岡商大）平戸（日鉄八幡）長井、武田（以上京大）中井、大東、北野（以上関大）田屋、武藤（以上関学）志賀（同大）山口（鳥取大）

昭和26年7月には翌年の7月に開催されるヘルシンキ大会（戦後初の正式参加）を前提に名古屋以東30名、名古屋以西20名による約2週間にわたる第1次選抜合同練習が決まり、高校生代表3名の中に選ばれたところから私の全日本代表選手への第1歩が始まりました。結果的にバスケットボールは体協の枠が貰えず、1次合同練習で解散してしまいました。

また日本対フィリピン戦の結果で、メル

30

ボルン・オリンピックに参加出来るか出来ないか日本オリンピック委員会（JOC）で決めようということがJOCの会議で決まり、当時の体協理事でJOC役員の八田一朗氏（日本アマチュアレスリング会長）、浅野均一氏（日本陸上競技連盟委員長）、近藤 天氏（日本体操協会常務理事）などが試合を観戦した結果、バスケットボールは力量が国際的に同等であると各委員から評価されメルボルン・オリンピックへの参加が決定した。

日本男子バスケットボールのオリンピックへの参加は、戦前ベルリン・オリンピックで初めてバスケットボールが採用されてアジアから日本が出場している。続く戦前の東京大会、ロンドン大会とオリンピック開催が中止、戦後のロンドン・オリンピックには日本は招待されず、またヘルシンキ・オリンピック参加への努力も行ったが結果的にバスケットボールは参加できなかった。

戦後、初の国際試合にAJAハワイチームと戦った全日本、学生などの選手、また第1回ニューデリー・アジア競技大会で戦った選手達、いわば「戦後日本の復興期のバスケットボールを支えた選手達」は、残念ながら一人もオリンピック参加の夢を果たすことができなかった。

しかしオリンピック参加へバスケット界がひとつになり、選手、スタッフの努力に加え、当時の日本協会役員の方々が体協とJOCへ働きかけ、結果としてメルボルン・オリンピック参加という悲願の実現に繋がったことを忘れてはならない。

その後メルボルン大会に続いて、ローマ、東京、メキシコ、ミュンヘン、モントリオールとオリンピックが開催され、日本はメキシコを除く4大会に出場したが、昭和51年(1976)モントリオール・オリンピック出場を最後に、男子バスケットボールにおいては予選を突破できずオリンピックへの道は途絶えている。

メルボルン・オリンピック参加メンバー

監督	大庭 哲夫	日本協会理事長
コーチ	前田 昌保	立教大学OB
選手	糸山 隆司	日本鋼管（チーム主将）
	藤田 学	日本鋼管
	杉山 武雄	八幡製鉄
	荒井 利一	松下電器
	齋藤 博	日本鉱業
	東海林周太郎	立教大学
	紺野 仁	鉄興社
	登坂 哲朗	慶応大学
	今泉 健一	日本鉱業
	大平 礼三	明治大学
	奈良 節雄	立教大学



DUPER®



WE ARE A SPECIALIST IN BASKETBALL GOODS.

DUPER FIVE CO., LTD.
3-5, TATEKAWA 3-CHOME, SUMIDA-KU, TOKYO 130-0023 JAPAN
TEL. TOKYO 03(3632)7045 FAX. TOKYO 03(3632)8327
URL: <http://www.duper.co.jp> E-mail: info@duper.co.jp

●2011-2012デューパーNEWカタログをご希望の方は、住所、氏名、年齢、TEL、職業を明記し、切手390円を同封の上、上記住所までお申込み下さい。